

2014年10月24日

株式会社 リクルート ホールディングス

リクルートホールディングスが運営するギャラリー「ガーディアン・ガーデン」にて10/27スタート！ 写真界の次世代を担う若手を発掘する 第11回写真「1_WALL」展

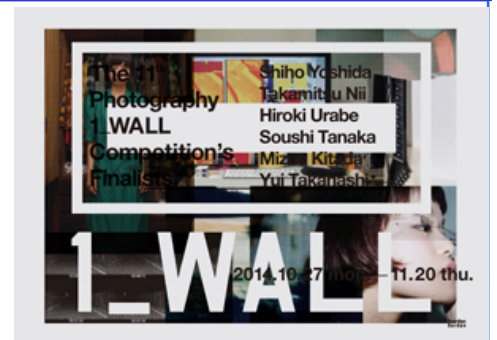
株式会社リクルートホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：峰岸真澄）が運営するギャラリー「ガーディアン・ガーデン（<http://rcc.recruit.co.jp/>）」では、2014年10月27日（月）より11月20日（木）の期間、第11回写真「1_WALL」展を開催いたします。

写真「1_WALL」とは

ガーディアン・ガーデンでは、**個展開催の権利をかけた公募展、第11回写真「1_WALL」展を開催**いたします。ポートフォリオ審査による一次審査と、1対1で審査員と対話をする二次審査を通過したファイナリスト6名が、一人ひとり壁面を使って作品を発表するグループ展で作品を発表します。

会期中の**11月5日（水）には、グランプリを決定する公開最終審査が開催**されます。一般見学者にも公開されたファイナリストによるプレゼンテーションが行われ、審査員による議論の後、グランプリが決定いたします。グランプリ受賞者には1年後の個展開催とパンフレット制作の権利が贈られます。

人やモノの持つ根源的な弱さとゆらぎに着目した浦部さん。女性を裸にし、化粧や服装の下にある生身の女に触れたいと迫った北田さんのポートレート。亡くなった母と祖母が残した洋服を着て、それぞれの家のクローゼットの前でひたすら同じ構図とライティングでセルフポートレートを撮り続けている高橋さん。暗闇で、カメラのセルフタイマーを使って機械的に撮影することで、作者の意図や個性を排除し、カメラを通過したデータのみで作品を作ることにチャレンジした田中さん。空間を二次元に定着させる写真の平面性に着目し、自分の部屋でそこにあるものを素材に画面を構成することで、空間を改めて捉え直そうと試みた新居さん。Web上にあふれる写真を模写し、さらにそれを写真に写すなど、記憶の断片やイメージを物質化することを試みた吉田さんの作品。今回の写真「1_WALL」も多種多様な表現が集まりました。



「1_WALL」展

<展覧会概要>

- 企画展名 第11回写真「1_WALL」展
- 会期 2014年10月27日（月）～11月20日（木）
11:00a.m.～7:00p.m. 日曜・祝日休館 入場無料
- 会場 ガーディアン・ガーデン
〒104-0061 東京都中央区銀座7-3-5 ヒューリック銀座7丁目ビルB1階
TEL 03-5568-8818 <http://rcc.recruit.co.jp/>

<公開最終審査>

2014年11月5日（水） 6:00p.m.～8:30p.m. 見学予約 TEL:03-5568-8818

リクルートホールディングスではこれからも、「働く、学ぶ、住む、結婚、育児、旅、車、趣味や暮らし情報」など、さまざまな場面でユーザーが新しい発見・機会創出できるサービスを提供し、一人ひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】
<https://www.recruit.jp/support/form/>



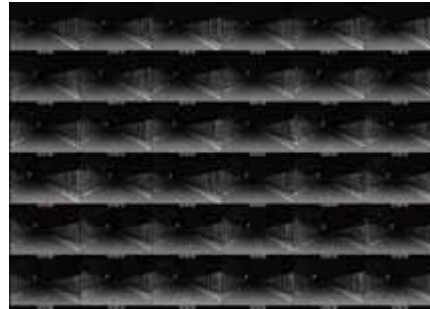
浦部裕紀 Hiroki Urabe
1985年生まれ 早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了
「weak」
あらゆるものにつきまとう弱さ。その不安定な様相から変移を聴き取ること。



北田瑞絵 Mizue Kitada
1991年生まれ
バンタンデザイン研究所大阪校フォトグラフィ専攻卒業
「性アンドインスティントイン彼女」
女であるから苦しんで、女に救済される骨の髄まで染み付いてる女という存在はなに下着を脱いで裸になったその先で“個人”となる彼女の顔を見たい漂う性と女性としての本能



高橋由衣 Yui Takahashi
1986年生まれ 東京総合写真専門学校卒業
「CLOSET」
幼い頃よく遊んだ母のクローゼット。再びその扉を開けることになったのは遺品整理の時であった。母、祖母、私、それぞれのクローゼットを通して母との関係性を探っていく。



田中崇嗣 Soushi Tanaka
1978年生まれ 広島県出身
「ILLUMINATE THE PERIOD II」
光が機械を通過しデータが生成されるという根本的な現象の中で身体を機械に任せてデータを切り出そうと思った。



新居上実 Takamitsu Nii
1987年生まれ 日本写真芸術専門学校卒業
「平面上の空間」
物体と物体の衝突が創り上げる不均衡な空間の観察。



吉田志穂 Shiho Yoshida
1992年生まれ
「Log」
そこに形を与えたいと思った。

「1_WALL」とは

「1_WALL」は、リクルートホールディングスが運営するギャラリー、ガーデン・ガーデンでの個展開催の権利をかけた、グラフィック、写真の2部門からなる公募展。グランプリに到達するまでに、ポートフォリオ審査に始まり、審査員と1対1で行うポートフォリオレビュー、ファイナリスト6名によるグループ展と会期中の公開最終プレゼンテーションに至るまで、何度も自分の作品と向き合うこととなります。その過程こそが「1_WALL」というコンペティションなのです。

審査員（五十音順・敬称略）

菊地敦己（アートディレクター）

1974年生まれ。武蔵野美術大学彫刻科中退。2000年ブルーマーク設立、2011年解散。同年、菊地敦己事務所設立。主な仕事に、青森県立美術館のVI計画、ファッションブランドの「ミナペルホネン」や「サリースコット」のブランド計画、雑誌『装苑』のアートディレクション等。JAGDA新人賞、ADC賞等受賞多数。東北芸術工科大学客員教授。

鷹野隆大（写真家）

1963年生まれ。主な写真集に『IN MY ROOM』（蒼穹舎）、『男の乗り方』（Akio Nagasawa Publishing）、『カスババ』（大和プレス）、『a』（SUPER DELUXE）。2006年に第31回木村伊兵衛写真賞受賞。

高橋朗（フォト・ギャラリー・インターナショナル ギャラリーディレクター）

1976年生まれ。1998年よりフォト・ギャラリー・インターナショナル（東京）に勤務。2003年～2010年東川町国際写真フェスティバルに東川賞受賞作家展アシスタントディレクターとして参加。

土田ヒロミ（写真家）

1939年福井県生まれ。主な作品に「俗神」（1976）、「ヒロシマ」（1985）、「砂を数える」（1990）、「BERLIN」（2011）など。2008年土門拳賞受賞。作品コレクションは東京都写真美術館、ニューヨーク近代美術館、パリ・ポンピドーセンターなど。

町口寛（アートディレクター/パブリッシャー）

デザイン事務所「マッチアンドカンパニー」主宰。2005年に写真集レーベル「M」を立ち上げ、写真集販売会社「bookshop M」を設立。2008年より世界最大級の写真の祭典「PARIS PHOTO」に出展しつづける等、独自の姿勢でものづくりに取り組み、世界を視野に“日本の写真集の可能性”を追求している。

「1_WALL」審査の流れ



一次審査
（ポートフォリオ審査）

二次審査に参加する30名
を選出



二次審査
（ポートフォリオレビュー）

審査員が一次審査通過者
と一対一でポートフォリオ
審査し、6名を選出



「1_WALL」展

二次審査を通過した6名による
グループ展



公開最終審査
※11月5日

「1_WALL」展会期中に、グラ
ンプリを決定する最終審査を
公開で開催



グランプリ受賞者個展

1年間の制作期間を経て、ガー
ディアン・ガーデンで個展を開
催。個展にあわせてパンフレッ
トも制作